

**令和2年度 大阪市社会福祉大会における
“功労表彰” 受賞に際して
副理事長 長谷川 美智代**

この度、令和2年度大阪市社会福祉大会において、功労表彰を受賞させていただきました。

毎年開催される社会福祉大会が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったことは、誠に残念ではありますが、会員の皆様のご支援と諸先輩方のご指導のおかげをもちまして受賞の機会に恵まれましたことを心より感謝申し上げます。

子どもに障がいがあると知ってから、幼いころは、中々現実を受け止めることができませんでした。我が子を「かわいい」と思う気持ちはありましたが、成長が遅いことに焦ったり、他の子と比べては落ち込んだり・・・そして、次から次へと出てくるパニック、こだわり、奇異な行動に振り回されながら日々を過ごすうちに、大変さを感じながらも障がい児の母として、この子をしっかり育てていかなければ！と思えるようにもなりました。

気持ちが前を向くと私の世界も広がりました。地域の親の会の仲間とのつながりができ、子どもの成長を喜ぶことができるようになり、療育にも力が入りました。

今振り返ると当時は、子どもの力を伸ばすことだけに目を向けて、「福祉」についてはあまり関心がなかったように思います。けれども、難波特別支援学校に入学して、大阪市手をつなぐ育成会に入会したことで、障がいのある人を取り巻く環境や福祉制度、サービスについて学ぶ機会が増え、いろいろな知識を得ることができました。特に今ある制度やサービス等を作るために育成会の先輩方が様々な運動を展開し、尽力されてきたことを知り、改めてサービスを楽しむことに感謝するとともに更なる充実に向けて、私たち親が団結して活動を継続していかなければならないことを痛感し、微力ながらも力を注いでまいりました。

我が子も28歳になり、一社会人として自分の世界を広げつつあります。将来、親がいなくともその環境を受け入れて、自分の人生を楽しんでほしい。そのためにも知的障がいのある本人たちが、安心して自分らしく暮らすことのできる地域づくりが欠かせません。

今回の受賞を励みに、誰もがいきいきと暮らせる「共生社会」の構築に向けて、一層努力してまいりたいと思いますので、今後ともお力添えをいただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

【功労表彰を受賞された長谷川副理事長(右)

小泉理事長と記念撮影】



その他の受賞については次のとおりです。

なお、賞状の授与式は、10月度支部連絡会において行われ、大阪市社会福祉協議 会長 宮川晴美氏に代わり、小泉理事長から授与されました。

【永年勤続表彰】

- ・法人本部 事務局長 飯塚 聡
- ・港育成園 管理者 松本 源太郎
- ・港育成園 管理栄養士 河野 千秋
- ・港第二育成園 管理者 杉原 浩司
- ・居宅介護事業所 管理者 服部 剛志

【大阪市社会福祉施設等従事者表彰】

- ・法人本部 経営企画課長 朝田 真生



**10月度 支部連絡会 ワンポイント講座
～消費者トラブルにあわないために～**

令和2年10月22日(木)、大阪市立社会福祉センターにおいて令和2年10月度支部連絡会を開催しました。

今回、情報提供として「消費者トラブルにあわないために」をテーマに大阪市消費者センター相談員の甲田敏江氏からお話を伺いました。

2019年度の報告によると、大阪市の相談件数は21,033件で、年代別では20歳代以下の若年層が18.1%、30歳～50歳代の中間層が52.5%、60歳以上の高齢者層が29.4%となっており、1件当たりの金額が大きいのが高齢者層だそうです。